

2022年度 外国語学研究所(結果)

PLAN(計画)		DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。		D:計画を実行しその効果を測定する。		C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる	
		実施状況(実施率)		評価		評価の理由/課題/根拠データ等	
(1) B'sVison2024に基づく学修成果・教育成果向上の改善 ①国際的視点を涵養するための教育力のさらなる向上 ②生涯学習センターとの連携による自律的、自主的学習支援の継続 ③短大以後の卒業生入学をさらなる促進、永くサポート大学を目指す ④チューター制度の充実化、研修等のストレス耐性を持つ人材育成		70%		①他の科目において、どのように国際的視点を取り入れているかが把握できていない。 ②生涯学習センターとの連携による講座について広報活動が不十分。 ③短大以後の卒業生入学を促進するために戦略が不十分。		卒業生への広報を十分行えなかった	
(2) 中・長期的ビジョンに基づく検討と整備 ①中学・高等学校専修免許(英語)取得のための科目の整備 ②データサイエンス教育指導のシステム化 ③共通科目におけるDX導入の検討		80%		③共通科目におけるDX導入の検討が不十分。			
(3) 文京学院大学の教学の方針を踏まえた計画 ①全学FD・SD研修会を受け自己点検・評価の推進を行う ②外国語学研究所独自のFD研修会の引き続き実施する ③年間授業アンケート結果の満足度95%以上を目標とする		70%		①自己点検・評価について研究科委員会で議論が少なかった。集団指導体制、院生間の研究交流が必要であることがわかった。 ②外国語学研究所独自のFD研修会を実施した。 ③年間授業アンケートの結果が95%であった。			
(4) 認証評価結果を踏まえ、収容定員の充足、学生受け入れに求める方針の明確化 ①募集戦略のさらなる先鋭化、内部進学者の増大(80%以上)を図る ②APに基づく具体的な学生の受け入れの学習歴、学歴水準、能力の明確化と情報公開 ③院生交流会の案内や報告をHPやSNSにアップし、研究科の魅力をアピールする。		60%		①十分な募集戦略を策定することができず、内部進学者を増やすことができなかった。 ②APに基づく学生の受け入れの学習歴、学歴水準、能力の明確化を十分に実施できなかった。 ③院生交流会の案内を一部SNSにアップし研究科の魅力をアップできた。		内部進学者が1名、外部進学者が0名。	
(5) 認証評価結果を踏まえ、学位授与方針と学修成果の関係の明確化を図る ①課題研究、修士論文の評価ルーブリックの実施 ②学位授与方針と学修成果の指標の明確化と情報公開		70%		(5) 認証評価結果を踏まえ、学位授与方針と学修成果の関係の明確化を図るために ①課題研究、修士論文の評価ルーブリックの実施した。 ②学位授与方針と学修成果の指標の明確化と情報公開を行った			
(6) 院生の交流を通した研究活動の充実化 院生間のネットワーク設立、研究科内の研究交流、共同指導体制の促進、教員間の共同研究推進。		100%		定期的に院生研究交流会を8回実施し、共同指導体制も構築した。			

2023年度 外国語学研究所

PLAN(計画)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	
A. 収容定員の充足を目指す募集戦略 (1) 広報活動の再検討・拡充(HPの見直し、SNSの再活用、講演会の活用等) (2) 募集戦略に注力した生涯学習センター連携講座の実施検討 (3) 在学生対象の学内説明会/相談会の実施時期および方法の検討 (4) 学外向けのオンライン相談会の実施時期および方法の検討	
B. B'sVison2024に基づく学修成果・教育成果向上の改善 (1) 定期交流研究会の継続と発展 (2) 授業評価の徹底、およびその分析結果をもとにした指導方法・体制の改善 (3) 学生ニーズ調査の実施、およびその分析結果をもとにした指導方法・体制の改善 (4) アカデミック・ライティング科目開設の効果測定の仕組みの検討	
C. 中学校・高等学校専修免許(英語)取得のための授業科目の整備	
D. 海外研究者および大学院生との交流 (1) FDへの講師招聘 (2) 海外の大学院生とのオンラインによる交流	
E. センターとの連携 (1) 生涯学習センター: 例年開催の連携講座の実施 (2) 教職センター: 教員免許取得のための学生サポート (3) 国際交流センター: ウクライナからの留学生のサポート	
F. 中期目標: 改革検討チーム発足に伴う将来構想の検討 (1) カテゴリー区分についての検討 (2) 短期目標で掲げた項目以外で必要とされる改革内容の選定、実施に向けた検討	